

KITZ Report

第111期
期末

2024.1.1 ▶ 2024.12.31

Contents

- Pick Up News
- トップインタビュー
- 数字で見るキッツ
- 第2期中期経営計画(2025-2027)
- グローバルネットワーク
- Topics

KITZ

株式会社 **キッツ**

証券コード：6498

Pick Up News

1月 石川県珠洲市の避難所に 浄水装置を提供



1月5日に可搬式膜ろ過浄水装置「アクアレスキュー」2台を設置。河川から取水された原水を浄化し、避難所のお風呂、生活用水及びトイレを流すための水として活用いただきました。

3月 国内グループ会社での CO₂削減率80%を1年前倒しで 達成したことを発表



太陽光発電装置設置、LNGへの燃料転換、CO₂フリー電力導入等により、2024年までに達成すべきCO₂削減率を1年前倒しで達成したことを発表しました。

5月 「KITZ CONVENTION 2024」を開催



35年ぶりに単独の展示会を東京と大阪で開催し、市場分野ごとの技術や製品・サービスを紹介。キットグループが挑戦し変化していく姿を実感いただきました。

2024

1月

2月

3月

4月

5月

6月

2月 ベトナムに半導体装置 市場向けバルブの製造拠点の 新設を決定



建設を進めているベトナム工場の敷地内に、半導体装置向け高純度ガス対応バルブの生産拠点を新設することを決定しました。需要増への備えとともに生産地域分散による安定供給にもつなげます。

4月 工業用ボールバルブを 製造するブラジルのグループ 会社に新工場を竣工



従来からの鍛造技術と高品質に加え、鍛造設備を増設した新工場で、30%の生産能力アップと自動化による生産効率向上を目指します。

6月 インドにおける現地法人 (販売会社) の設立を発表



急成長するインド市場での事業拡大に向け、販売会社を設立することを発表しました。営業活動を充実させるとともに、現地の部品サプライヤーを活用し、グループのサプライチェーンを強化していきます。

7月 グループ会社のキッツエンジニアリングサービスが新拠点を開所



バルブの分解点検・整備・調整・検査を含むメンテナンス業務及びバルブの仕様変更・配管更新工事などに対応する川崎サービスセンターを開所しました。

7月

9月 株式の売出しと自己株式取得を実施

株主層の拡大、多様化及び流動性の向上を目的として、株式の売出しを実施。売出しに伴う株式需給影響の緩和と、資本効率の向上、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策遂行のため、自己株式を取得しました。

9月

11月 オンサイト型自家消費太陽光発電サービスを開始



キッツ茅野工場と、グループ会社のキッツエスシーティー新田SC工場においてオンサイト型自家消費太陽光発電サービスを導入し、2050年カーボンニュートラル実現に向けCO₂の削減に取り組んでいます。

11月

8月 東洋バルヴの吸収合併を決定



東洋バルヴ

営業体制の再構築によるマーケティング強化や社内業務の効率化を目的として、グループ会社の東洋バルヴの吸収合併を決定しました。(2025年1月から)

8月

10月 水循環ACTIVE企業に認定される



積極的に水循環に資する取り組みを実施している企業として認められ、内閣官房水循環政策本部事務局に「水循環企業登録・認証制度」の水循環ACTIVE企業として認定されました。

10月

12月 当社初のベトナム生産拠点が稼働開始



重点弁種であるステンレス鋼製バルブの生産能力拡大、生産地域分散による安定供給を実現することで、グループの中長期的な売上拡大を図っていきます。

12月



取締役 代表執行役社長
河野 誠

当期の業績と今後の取り組み内容について河野社長に伺いました。

Q 第1期中期経営計画を終えて

A 株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

まず、2024年12月期の業績の概要をご説明しますと、売上高の総額は前期比3.1%増の1,720億42百万円となりました。パルプ事業、伸銅品事業ともに前年実績を上回り、過去最高の売上高を計上することができました。営業利益は、前期比3.9%増の142億20百万円となりました。パル

プ事業は半導体装置向けの販売量減少のほか、人件費の増加やインフレに伴う経費の増加等により、前期比微減となりましたが、伸銅品事業で減耗率の低減や銅相場上昇に伴う利幅の確保等で増益となり、連結営業利益も前年実績を上回ることができました。経常利益は、為替差益の計上等により、前期比5.7%増の152億76百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、政策保有株式の売却による投資有価証券売却益の計上等により、前期比11.6%増の118億24百万円となりました。

次に、第1期中期経営計画の3か年を振り返ると、財務目標においては、当初掲げていた目標（売上高1,500億円・営業利益120億円・ROE8%以上）を大幅に上回ることができました。非財務目標においては、2013年度比のCO₂排出量削減目標▲80%を達成することができましたが、社員の働きがい・働きやすさなどの社員エンゲージメントスコアや女性活躍に関する指標は未達成に終わり、継続的な取り組みが必要と考えています。主力のパルプ事業において、コア市場をさらに強化しながら、成長市場への参入を加速する両利きの経営を進めてきましたが、この3年間の年平均成長率はコア市場8.7%、成長市場12.8%といずれの市場でも成長を遂げることができました。

Q 第2期中期経営計画について

A 第2期中期経営計画のスローガンは「SHIN Global 2027」です。SHINには、日本語の信頼・新規・進化という意味に加え、Strong Will（強い意志）、Harmony（調和）、Innovation（イノベーション）、Network（ネットワーク）というキッツグループで大切にしたい思いをグローバルに通用する形で盛り込みました。海外で働く社員にも調和をもってワンチームになって仕事することの意義を理解して、ともに進んでもらいたいと思っています。第1期中計では半導体装置向け、半導体材料（フィルター）、

ステンレス鋼製バルブの生産能力の増強など成長投資を積極的に行ってきましたが、第2期中計ではこの効果を刈り取ることで新たな成長領域の開拓が最大のテーマとなります。業績目標として、2025年に売上高1,800億円・営業利益150億円・ROE10.2%、2027年に売上高2,000億円・営業利益200億円・ROE11%以上を掲げています。組織体制を市場別ビジネスユニット（BU）制に再編し、市場やお客様のニーズを的確かつ迅速に汲み上げ、そのご期待に応えることで、これを実現したいと考えています。

また、キッツグループは、第2期中計を策定するにあたり、マテリアリティ（経営重点テーマ）の見直しを行いました。持続可能な成長を実現するためのマテリアリティとして、「デジタル社会の発展への貢献」、「地球環境の保全への貢献」及び「進化によるゆたかな暮らしへの貢献」を、経営基盤を確立するためのマテリアリティとして、「未来をひらく人材力の強化」、「持続可能なサプライチェーンの確立」及び「攻守の効いたガバナンスの追求」を定めました。社員一人ひとりがこれらのマテリアリティを意識して事業活動に取り組むことにより、持続可能な未来の創造に貢献してまいります。

Q 最後に、株主の皆様にごメッセージをお願いいたします

A 当期末の配当金につきましては、1株当たり27円（前回公表より5円増配）とさせていただきます。中間配当として19円の配当を実施しておりますので、年間配当額は46円と過去最高、連結配当性向は34.7%となりました。2024年に実施した総額約30億円の自己株式の取得と併せて、連結総配当性向は59.8%と高い水準となりました。当社は、今後も効率的で、公正かつ透明性の高い経営を実現することにより、社会から信頼される企業を目指してまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

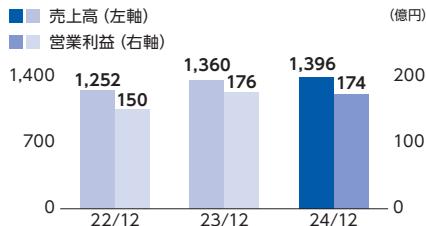
数字で見るキッツ



業績ハイライト

セグメント別売上高・営業利益

バルブ事業

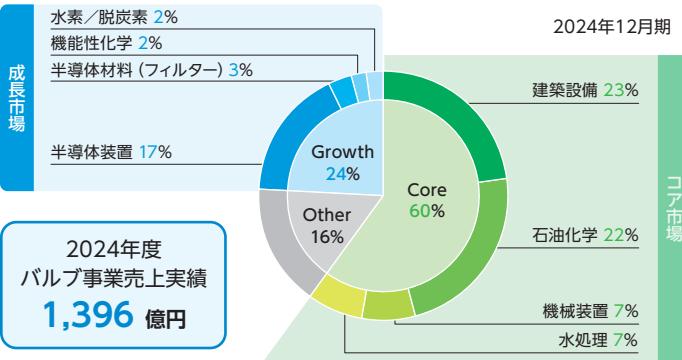


伸銅品事業



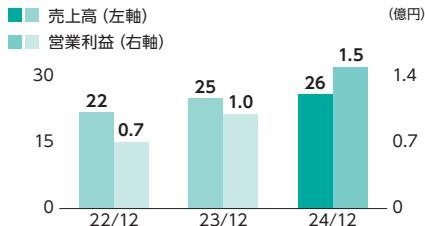
バルブ事業 市場別売上実績

2024年12月期



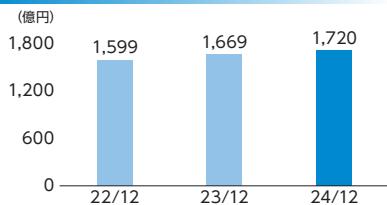
2024年度
バルブ事業売上実績
1,396 億円

その他



主要連結財務指標

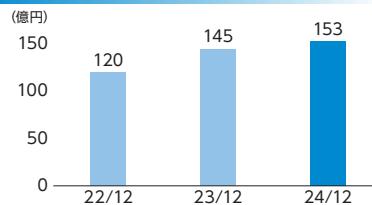
売上高



営業利益



経常利益



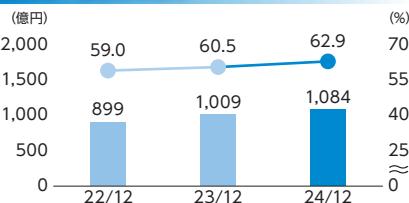
親会社株主に帰属する当期純利益



総資産



自己資本/自己資本比率



(注)決算等の数字については、百万円単位の場合単位未満切り捨て、億円単位の場合単位未満四捨五入で表示しています。

第2期中期経営計画(2025-2027)

第2期中期経営計画
の説明資料



トップインタビューで触れた第2期中期経営計画に向けた準備と計画の概要をご紹介します。

成長に向けた3年間の仕込みと今後の刈り取り



第2期中期経営計画に向けた仕込みと準備

第2期中期経営計画のスタートに合わせて、バルブ事業においては8つの市場を軸とした市場別ビジネス・ユニット(BU)制に社内組織を再編。BU長への権限移譲により、BU毎のマーケティング・製品開発を推進し、各市場におけるお客様のニーズに素早く応えていける体制にしました。

※BU=ビジネスユニット
●主力市場、○対象市場

バルブ事業		建築設備・機械装置BU	インダストリアルBU	半導体BU	環境ソリューションBU	水素BU	伸銅品BU
Core	建築設備	●	—	—	—	—	○
	石油化学	—	●	—	—	—	—
	水処理	○	—	—	●	—	○
	機械装置	●	—	—	—	—	—
Growth	半導体装置	—	—	●	—	—	—
	半導体材料（フィルター）	—	—	●	—	—	—
	機能性化学	—	●	—	—	—	—
	水素/脱炭素	—	○	—	—	●	—
伸銅品事業		—	—	—	—	—	●

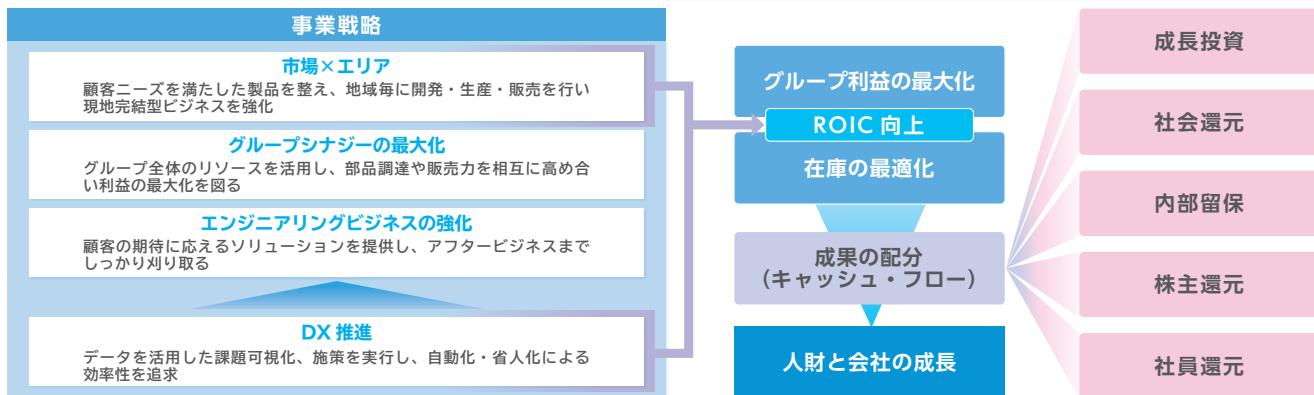
SHIN Global 2027

3つの“SHIN”で真のグローバル企業を目指す

1. 信頼 (SHIN-rai) をベースに、社員・グループ一丸となって
2. 新規 (SHIN-ki) の市場・商品・商流を拡大し
3. 進化 (SHIN-ka) を続ける

2027年度連結目標

売上高	2,000 億円
営業利益	200 億円
ROE	11%以上



サステナビリティ経営の全体像

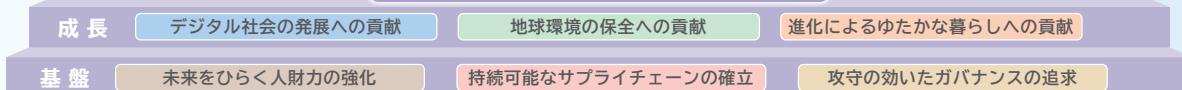
企業理念 (キッツ宣言)・長期経営ビジョン・行動指針

サステナビリティ経営

2030年にありたい姿



マテリアリティ (経営重点テーマ)



人的資本

グローバルネットワーク

キッツグループは、これまで海外への生産移管やM&Aなどを重点エリアとして海外事業を拡大してきました。世界各対応することが可能となり、すでに世界50か国以上において第2期中期経営計画では、現地主導の製品開発・生産・販にも注力していきます。

KITZ Corporation of Europe, S.A. (スペイン)



Perrin GmbH (ドイツ)



KITZ Corporation of Jiangsu Kunshan (中国)



KITZ Valve & Actuation India Private Limited. (インド)



ドバイ駐在員事務所 (UAE)

KITZ Corporation of Shanghai (中国)



Micro Pneumatics Pvt. Ltd. (インド)



KITZ (Thailand) Ltd. (タイ)



KITZ Corporation of Asia Pacific Pte. Ltd. (シンガポール)

積極的なグローバル展開を遂行し、米州、欧州、アセアン、中国地に拠点を置くことで、現地の市場ニーズに的確かつ迅速に販売実績を有しています。

売を促進するとともに、インド、中東市場におけるの事業拡大

● 生産機能 ● 生産・販売機能 ● 販売機能 ● 駐在員事務所



海外拠点 17か国 32拠点*

生産機能 15拠点
販売機能 22拠点

国内拠点 38拠点*

生産機能 7拠点
販売機能 35拠点

*国内及び海外拠点のいずれも生産と販売の両機能を備える拠点については重複してカウント

拠点の詳細情報はウェブサイトをご覧ください。



KITZ Corporation of Korea (韓国)

KITZ SCT America Corporation (アメリカ)

KITZ Corporation of America (アメリカ)

KITZ Corporation of Taiwan (台湾)

KITZ Corporation of Vietnam Co.,Ltd. (ベトナム)

Metalúrgica Golden Art's Ltda. (ブラジル)



Valve World Expo 2024に出展

当社は2008年から、2年に1回ドイツ・デュセルドルフで開催されるValve World Expoに出展しています。Valve Worldは工業系バルブに特化した世界最大規模の展示会です。今回の展示ブースは、キット及び欧州のグループ会社と共同で運営しました。海外展示会特有の飲食しながらのコミュニケーションを促進するため、ブースのデザインはバーカウンターや展示台を円形にする設計にしました。成長分野である水処理市場や半導体関連市場等に焦点を当てた水処理装置やグループ会社のバルブ製品もラインナップ展示しました。水素・脱炭素への取り組みはタッチパネルで紹介し、同時に開催されたカンファレンスでは技術開発力を披露しました。欧州市場の既存顧客は主に石油化学分野ですが、それ以外の分野の製品・取り組みを見せることにより、来場していただいた顧客や商社、エンジニアリング会社などに、当社の事業範囲の広さについて理解していただくことができました。真のグローバル企業への進化を目指す第2期中期経営計画(2025-2027)でも、引き続き海外に向けた発信力を強化していきます。



多様なマーケットのお客様に寄り添った商品・サービスの魅力を訴求

個人投資家向けIR説明会に参加

2024年12月に、日興アイ・アール株式会社が主催する個人投資家向けIR説明会に参加しました。オフラインとオンラインのハイブリッド形式で行われ、会場では78名、ウェブ上では280名の方々に参加していただきました。対面開催は新型コロナウイルスのパンデミック以来初めてのことで、河野誠社長が当社の概要、成長戦略、経営ビジョンについて説明し、多くのご参加者から質問や感想が寄せられ、当社への理解を深めていただくことができました。

知名度向上を目指し今年度から活動を強化

当社はこれからも個人投資家の皆様に対して積極的な情報開示を継続的に行ってまいります。2025年には、投資系インフルエンサーとの対談企画や、個人投資家向け説明会の参加を予定しています。

4月12日に個人投資家向けIR説明会を開催する予定です。詳細情報やお申し込みについては3月中旬以降にこちらのウェブサイトにてご確認いただけます。



DX EXPO 2024を開催

2023年より、デジタル活用に親しむ文化醸成や業務効率化、生産性向上を目指した社内イベントを開催しています。2024年11月には、新しいデジタル技術を「みて・さわって・まなぶ」をテーマに第2回DX EXPOが開催されました。

担当社員メッセージ



IT戦略企画部
高橋 さん

2024年で第2回目となる今回は、より社員のニーズに合ったイベントを実現するため全社横断タスクとして様々な部署からメンバーを集め、企画から開催まで実施しました。また今年からBU制度が導入されることも受け「部門間の連携」をキーワードに、会場を前回から2つ増やし4拠点に広げてのイベントとなりました。

業務でPCを使う機会が少ない製造現場の社員にもイベントを通してデジタル変革に前向きな意識を持っていただくために工場での開催を強化し、また協力会社にも出展・登壇いただくことで最先端技術に触れることができる機会を用意しました。さらに生成AIをはじめとした業務効率化・活用事例のコンテストを開催し、グループ会社からも多くのオンライン視聴者が集まりました。

今後も取り組みの輪を拡大していき、新たな成長や競争力強化を実現するDXを目指していきたいと思っています。

業務革新活動に本格的に取り組み、 事業全体の機動力の最大化へ

オフィスや製造現場で行われている取り組みだけでなく、外部協力会社による最新の仮想空間体験や生成AI技術の展示も導入しました。



北澤美術館所蔵作品紹介



エミール・ガレ
脚付杯「けし」1900年 高さ19.0cm

19世紀末から20世紀初頭のフランスの工芸家エミール・ガレ（1846-1904）。草花や昆虫など自然の造形を取り入れた色とりどりの作品で、ガラス工芸に新風を吹き込みました。ガレは1900年パリ万国博覧会でグランプリを受賞しています。本作はその時に展示ケースの中央を飾った作品として有名です。万博のために開発された超絶技法「マルケットリー」でケシの花を表し、器の形も花びらに似せて仕上げられています。ケシは夢や幻を象徴する花とされていますが、ガレは「花はひとの顔以上に何かを語る」と述べています。薄紫色の花びらが幻想を呼び、夢の世界に誘われます。

特別展

『万国博覧会のガレ』出品作

2025年3月22日（土）▶2026年3月10日（火）



北澤美術館について

当社は諏訪湖畔に位置する公益財団法人北澤美術館の活動を支援しています。創業者北澤利男が地域文化の振興と発展に寄与することを目的に、1983年に開館しました。19世紀末アール・ヌーヴォー期のガレとドームを中心としたガラス作品と現代日本画を常設展示しており、国内外から高く評価されています。芸術文化の紹介と文化財の保存伝承など、幅広い文化活動を通じて、社会に貢献していくことを目指しています。

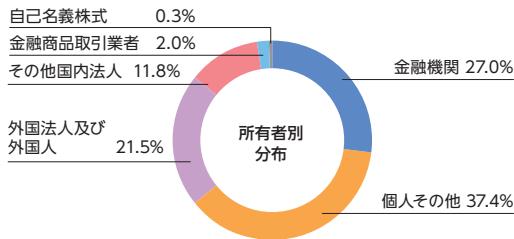
株主の皆様へ

詳細はウェブサイトをご覧ください。



株式の状況

- 発行可能株式総数 400,000,000株
- 発行済株式の総数 87,273,037株
(注)上記の発行済株式の総数には、当社が2024年12月31日に保有する自己株式292,574株を含めておりません。
- 株主数 21,059名
(注)株主数には当社を含めておりません。



株主優待のご紹介

キッツは、株主の皆様のご支援に対する感謝の気持ちを込めて、株主優待を実施しています(2024年12月31日時点で100株以上保有されている株主様が対象)。



株主優待の詳細

100株以上

- ① 「株主様ご優待案内」冊子(グループ会社優待券)
キッツグループの商品・サービスより、ホテル及び家庭用浄水器の各種優待券をご用意しています。また、キッツが社会貢献活動の一環として、その活動を支援している北澤美術館の招待券を進呈いたします。

1,000株以上

- ① 「株主様ご優待案内」冊子(グループ会社優待券)上記と同じ
- ② オリジナルクオカード
 - 長期保有株主優待
12月31日時点で、5年以上かつ1,000株以上保有されている株主様につきましては、①～③の優待に加え、③の優待品よりさらに1点(計2点)をお選びいただけます。
 - 新規株主様への優待
6月30日までに、新規で1,000株以上保有された株主様に、北澤美術館ガラス工芸カレンダー(大判サイズ)1部をお送りいたします。
- ③ 以下の優待品より1点を選択
 - 北澤美術館ガラス工芸カレンダー(大判サイズ)
 - 北澤美術館日本画カレンダー(大判サイズ)
 - 北澤美術館日本画カレンダー(卓上サイズ)
 - 北澤美術館への寄付1,300円
 - 日本赤十字社への寄付1,300円

配当方針・配当金

期末配当金のお支払について

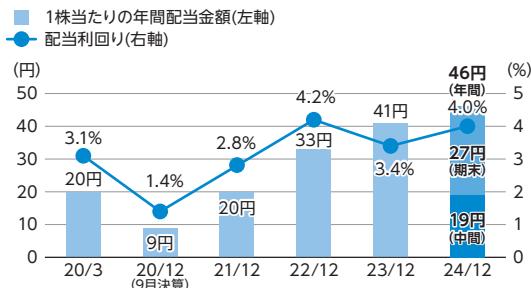
2025年2月27日開催の当社取締役会におきまして、第111期の期末配当金について、以下の通り決議されております。

期末配当金：1株当たり 金27円
効力発生日ならびに支払開始日：2025年3月12日(水)

同封の「第111期期末配当金領収書」により、払渡しの期間(2025年3月12日～2025年4月14日)内に最寄りのゆうちょ銀行または郵便局でお受け取りください。また、銀行等口座振込をご指定の方には、「第111期期末配当金計算書」及び「配当金振込先のご確認について」の記載をご確認いただけますよう、お願い申し上げます。

配当方針

キッツは、株主の皆様への利益還元として配当金を経営上の重要課題と位置づけ、連結配当性向については、親会社株主に帰属する当期純利益の35%前後を望ましい水準としております。なお、自己株式の取得につきましては、中長期の成長のための必要な投資額等を考慮したうえで、株式市場及び当社株価の動向、手元資金の状況等を勘案し、適宜検討いたします。今後も、株主様への利益還元をより一層充実させてまいります。



株式会社 キッツ

東京都港区東新橋一丁目9番1号
東京汐留ビルディング

UD
FONT

GREEN PRINTING JPP
P-A10007

ミックス
経 | 責任ある森林
管理を支えています
FSC® C022915
www.fsc.org

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-232-711 (通話料無料)